

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	最上町役場
実習期間	平成 31年 2月 18日 ~ 平成 31年 2月 22日
学生氏名	笠原 治樹
実習プログラム	1日目 廃校利用の説明、廃校見学、廃校利用について案出し 2日目 単身高齢者についてアンケートをもとに担当の方と話し合い 3日目 最上町の観光についてのプレゼン作成 4日目 最上町の農家を訪問し、今後の農業について話し合い 5日目 遊佐地区の福祉事業視察
学び・気づき (300字程度)	多くの業務を体験させて頂いた中で私は担当の方が地域の方と挨拶を欠かさずに行っており、役場の職業での業務は地域の方との関わりが大切であることを学んだ。また、役場の職員だけでは地域の活性化させるのは不可能、その為地域の方からの協力が必要であり、地域の方との日頃のコミュニケーションが大切であることを学んだ。 どの業務においてもコミュニケーション力が大切であることを実習を通して感じる事ができた。
今後に向けた 抱負 (200字程度)	今回の実習で発信力を目標に実習に取り組んだ。実習では、職員の方から伝わるやすい表現の方法を教えていただき効率よく相手に伝える術を学ぶ事ができた。また、一年生という早い段階でこのような経験をできたのは非常に貴重だと思った。実習で学んだことをこれからの学生生活,就職活動に活かしていきたい。
インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)	どの課でも職員同士が密にコミュニケーションを取っており、お互いの仕事の進行状況を随時報告しあい助け合える環境ができていた。また、個別に持っている情報を社員同士で共有し、仕事がしやすい職場だと感じた。私自身も気軽に分からない事があれば積極的に質問したり、アドバイスを頂いたりとリラックスして実習に臨む事ができた。

写真 (1~3点)

